

3.12.1

# 犬吠埼周辺と文学散歩



潮騒を聞きながらの散歩は楽しいものです

## 第2回ふれあいウォーク

第2回ふれあいウォークが、10月20日に銚子で行われました。10月は、週末になると天気が崩れることが多く心配でしたが、この日は、快晴とまでいかなぬものの、時折、青空の見える歩くのには最適の日になりました。

今回の参加者は100名。横芝駅に集合し、9時30分の電車で銚子に向かいました。

ふだん友達同志で電車に乗る機会が少ないせいとか、お互いに話はずみ、電車の中は終始なごやかな雰囲気でした。

10時12分銚子駅到着。スタート場所である海鹿島駅へはローカル色豊かな銚子電鉄で向かい、人数確認後、いよいよ出発です。

海鹿島海岸の松林に囲まれた一角にある国木田独歩碑を見学し、次に「待てど暮らせど来ぬ人を 宵待草のやるせなさ」で有名な竹久夢二詩碑、海鹿島海水浴場付近にある小川芋銭句碑を見て、関東舞子としてその名も高い君が浜へと足をはこびました。

快い潮騒を聞き、潮風に身をまかせながら歩くうちに、関東の最東端である犬吠埼に到着。昼食後、グループで写真を撮ったり、灯台を見学したり、楽しいひとときを過ごしたの目的地向かいました。途中、坂道が多いせいか、しだいに足取りも鈍くなつて



眺めはいかがでしたか？

きましたが、お互いに励ましあいながら、なんとか地球の丸く見える丘展望館に着きました。

この屋上からは、北は鹿島灘から筑波山を望め、東と南は一望千里に太平洋の大海原を、そして西は屏風ヶ浦から九十九里まで見渡すことができます。また、地球の丸さを肉眼で見ることできます。

30分ほど見学した後、夏になると磯遊びや海水浴でにぎわう長崎海岸を通りながら、予定より早くゴールの犬吠駅に全員無事着きました。

参加したみなさん一人ひとりの顔からは、8・2kmを歩きぬいた満足感が感じられました。

この駅は、建物がヨーロッパ風で、中には喫茶店やみやげ物店、食堂などがあり、これが駅かなと間違えるほどでした。

そして休憩後、人数確認をして、午後3時17分発の電車で銚子を後にしました。車内